

2023年度 施設関係者評価

あおぞらキンダーガーデンの教育目標及び本年度の重点目標（参考）

<p>◎ 教育目標…人間らしく生きる力の形成（体と心の主人公になる）</p> <p>○ 子ども像 *自分を大切にし、仲間とともに成長する子ども</p> <p style="padding-left: 20px;">*まわりのものに深い関心を寄せ、感動できる子ども</p> <p style="padding-left: 20px;">*じょうぶな体をもつ子ども</p> <p style="padding-left: 20px;">*自分の発見や考えを豊かに表現できる子ども</p> <p>これらの子ども像を達成するために、本年度は昨年度に引き続き「幼児理解と育ちの記録・あそびの考察・環境」を研究テーマとし、保育の充実・向上を図ることを重点目標とします。</p>
--

2 評価項目の及び取組状況（A=よくできた B=ふつう C=できなかった）

（1） 教育

「日常の保育活動」を教育課程の充実に結びつけた記録用紙「ちょこっと記録」を月1回個人で記入し、振り返るとともに、自己学習を深めてきました。また、日常の会議の中で「ちょこっと研修」を開催し、理論と実践を結び付ける事を深めてきました。結果、保育実践・保育力が向上しました。さらに、2023年度は法人全体で保育研究会を立ち上げ、教育課程の見直しを図っています。これらを継続していくことで、子ども観・保育観が豊かになり「子どもの最善の利益」をもとめる保育の充実・警鐘を図っていきます。

評価項目	自己評価	取組状況
1 幼児理解を深めるための視点の学習	A	自己学習力を上げ、日常の会議の中で実践を振り返ることで、幼児の姿が立ち上がり、その意味を学び、幼児理解・子ども観・保育観が深まりました。
②乳幼児の発達を学んで幼児保育を充実する研究	A	日常の短い時間、総括、方針、法人全体学習会などの場面で学習を進めてきました。その中で「今」を充実する「楽しかった」経験が子どもの発達の原動となる事、次の時代の発達の土台を創る事を学んでいます。
③保育環境研究	B	学習・保育指導の中で「環境」の大切さを深め、室内だけでなく園庭の環境整備を考える視点の充実が出来ました。
④具体的な保育内容を考える	A	職員会議、総括、方針会議、給食会議、環境についての学びは、保育の視点、保育内容のあり方を深めることができました。
⑤教育課程を見直す	A	毎月の実践検討会で見いだされたことを教育課程に照らし合わせ、見直しを行い、日常保育と教育課程のつながりを深められました。
⑥保育の様子や子どもの様子を保護者に分かりやすく伝える	A	個人連絡ノートを毎日交換・クラス便りを子どものつぶやきを中心に、保育の様子、子どもの様子、保育者の考えが伝わるよう、週1~2回発行しました。懇談会、行事等の機会を見直し、会では、園長や担任が保護者に分かりやすい言葉で子ども理解についての学びの機会とすると共に、親同士の交流の時間を取り「子育ては子どもを真ん中にパートナーなる」関係づくりを行ってきました。また、家庭訪問・個別面談を実施し直接的関係・送迎時などに積極的に会話をすることを心掛けました。園便りを定期的に発行しました。ホームページは随時更新しました。

（2） 運営

評価項目	自己評価	取組状況
①教職員体制の改善、向上	A	母体である平島幼稚園と、園児、教職員の交流・研修を実施すると共に、連携園である特定非営利活動法人なのはなの保育研究・交流人事を行いました。

②地域に向けての子育て支援の充実	B	未就園を対象とした保育を行う「あそぼの会」や運動会へのお誘いがコロナ前の様に行われました。 園の掲示板を使って子育ての応援メッセージを掲載しました。
③施設環境の整備	A	乳児シンク排水・幼児室内滑り台・幼児便器漏水・木製建具2か所・入口通路 等の施設環境整備に努めました。

3 本年度の重点目標の総合的な評価結果

A	<p>保育は人格形成の営みであり、保育者の専門性に「子どもの権利」について敏感に感じ取る力がが必要です。園では、保育者が「人権について」の学びを土台にしている歴史があり、今年度も確認し保育実践を進めています。そして</p> <p>正規職員・パート職員・職種に関係なく“子どもの最善の利益”をもとめる教職員集団をめざして学習・運営をすすめています。</p> <p>連携園と共に「保育研究会」を立ち上げて保幼小の連携プログラムの実践研究を追及することは、豊かな保育実践の土台作りとなり、今後積み上げていきたいと思っています。</p>
---	--

4 今後取り組むべき課題

<p>幼児期は、環境による保育と言われるように、豊かな保育を創り出すには、環境づくりが常に求められています。今後とも園外での環境を充実するとともに園内の環境づくりを充実していきたいと考えています。そして「保育の質は、保育者集団の質」ともいわれるように、これからも子どもを真ん中にして、保育の質の向上のため、努力を進めていきます。</p>
--